

K A K E G A W A
 かけがわ 第19号
**市議会
 だより**

平成21年2月1日

編集/発行 掛川市議会

静岡県掛川市長谷一丁目1番地の1

☎0537(21)1160

<http://www.city.kakegawa.shizuoka.jp>



元旦恒例・早朝寒稽古(大須賀脩道館)

おもな内容

CONTENTS

● 11月定例会の概要	2ページ
● 一般質問	4ページ
● 議案質疑	9ページ
● 新病院建設特別委員会の経過報告	10ページ
● 傍聴席 / 2月定例会の予定	12ページ

総務委員会協議会

● 市民総代会(中央集会・地区集会)システムの充実について

旧掛川市で約30年続いている特色あるシステムで、中学校の公民の教科書にも掲載されている。しかし、開催方法や内容について問題も出てきており、協議テーマとした。

総代会のテーマのあり方や開催回数と時間設定等について、「市民総代会システムは、行政と市民がまちづくりのあり方を追究する場であり、地区要望の交渉の場であると捉えるのは本来の姿ではない」「市の幹部が地域に向くことが大きい。そして、地区の人材育成の手段になっており、このままの形で続けるべきである」「今の区割りではなく、ある程度まとまった広い地区であれば、負担が軽減されるのではないか」また、「今の形は2年に1回とし、もう1回は形を変え、昼間に十分話をする方法もある」さらに、「発言についての時間設定の検討」や「幅広く市民全体の意見を吸い上げるという面から、若い人と女性の参加など、参加メンバーの構成も検討すべき」などの意見が出され、今後の改善策が課題となった。



● 自治基本条例等について

自治基本条例の制定は時代の流れであり、地方自治の根幹に関わり、かつ幅広いものであるため、しっかり議論しなければならない時代が来ている。掛川市の生涯学習の考え方との整合性、関連性も踏まえ、今後、さらに検討をしていくべき課題であるとの認識で一致した。

【その他のテーマ】広域消防のあり方と中央消防署整備構想

文教厚生委員会協議会

● 特別支援教育の掛川方式について

市内の特別支援学級では、子ども1人に教師1人の学級が多くあるため、現在、検討委員会を設置し、子どもが複数で学びあえる環境を整備するなど、子どもにとって望ましい特別支援学級の在り方について話し合っている。

その中では、現在の特別支援学級の学区を再編することなどが検討されている。再編の場合、保護者の願いでもある「地元の子どもや学校との交流体制」を構築するため、地元の学校行事や学級活動への参加が定期的に行えるような仕組みをつくるのが大切である。

したがって、保護者・児童生徒・地域の理解を得て、共生・共育の考えに基づき、掛川市における新たな特別支援学級の環境整備の必要性が検討された。

● 救急医療体制と病診連携について

掛川市の今までの夜間・休日の急患医療は開業医の皆さんによる輪番体制により行ってきたが、平成21年4月から掛川医療センター・徳育保健センター内に「急患診療所」を開設し、診療所には小笠医師会の方々に当直をしていただき、救急医療体制を確保していく。

市立病院における夜間時間外特別加算は、周辺5病院とも足並みを揃える必要があり、趣旨の普及を含め、今後の検討課題としていく。

中東遠地域にリハビリや療養型の病院が不足している中、地域連携室の充実はこれからの地域医療を考える上で極めて重要な課題である。

【その他のテーマ】介護保険第4期事業計画と介護のあり方

11月定例会

平成20年掛川市議会11月定例会が、11月28日から12月22日まで25日間の会期で開催されました。今期の定例会では、一般会計と特別会計の補正予算や掛川市竹の丸条例の制定など17件が上程され、審議の結果いずれも原案のとおり可決、承認、受理されました。また、議員から提出された「介護療養病床廃止計画の見直しを求める意見書」が全会一致で可決されました。

政策 議会報告

11月定例会は、政策議会と位置づけられ、掛川市の課題について、中長期的な展望に立って活発な議論が交わされました。この協議会で話し合われたことが、今後の行政施策の道筋のひとつとされます。ここでは、本会議最終日に行った委員長報告の要旨を掲載いたします。

経済建設委員会協議会

● 一級河川菊川の権限移譲について

来年夏頃を目処に、長期にわたる一級河川菊川の整備計画が策定される予定とのことだが、ある程度整備されるまでは、国の直轄河川として残していただきたい。仮に、移譲されても、人員確保と別予算での財源確保を強く要望していきたい。

結論としては、今までどおり直轄河川として、国が管理すべきであり、移譲する場合は、整備計画を明確にし、現在の国の整備、管理水準を維持し、財源措置、人員、資機材の確保、大規模災害時への国の全面協力が必要である。現時点では、平成21年3月頃に第3次勧告が予定され、その後、地方分権改革推進計画が閣議決定されるまでの間、あらゆる手段で陳情をするべきであるという意見に集約された。

● 農業問題(担い手不足、耕地荒廃、食の安全)について

国策として、大規模農家の規模拡大を図り、対外的な力をつけていくという流れであるが、掛川市では全体の健全な農業振興を考える必要がある。「業として成り立つ所得が得られるか、年金など老後の支援が十分か」農業政策の基本部分である。現状の政策では不十分であるため、後継者が育たず、農家数は減少し、耕作放棄地が増えている。国はこの部分に主眼を置き、農業政策を進め、経営を安定させる必要がある。掛川は交通網や気象条件に恵まれているので、地域の特性を生かした新しい取り組みが必要である。食の安全は、加工、流通にも課題がある。生産者が不利益をこうむることのない措置を取るべきである。割高でも安全性の高い食品を消費者も選ぶべきであるという意見があった。



一般質問

Q&A



休日及び平日夜間の救急診療(一次)は徳育保健センターで行われる

Q 現在、掛川市の一次救急は主に開業医で、二次救急は市立病院で担っている。救急医療体制をさらに充実させる必要があると考えるが、いかがか。

A 現在、掛川市の一次救急は主に開業医で、二次救急は市立病院で担っている。救急医療体制をさらに充実させる必要があると考えるが、いかがか。

Q 市民総代会・地区集会は期待どおり機能しているか

A 今年度の地区集会は、どのように行われたか。その結果をどのように市政に反映していくか。市民を中心に置いた行政管理サイクルが十分機能しているといえるか。

Q 南郷地区の皆さんは、現病院の用地、東名掛川IC周辺区画整理等々、掛川市の発展を願い、無条件で全面協力をしてきた。市立病院は広大な敷地で、その中で建て替えが可能で前市長は半永久的構想をもっていた。そのために、老後や病弱な我が子のことを思い、病院の近くに住宅を新築した人もいる。病院周辺の八地区の区長会長は、新病院の建設場所を現在地に求めている。市長は「現在地存続」を言うべきである。

Q 医師不足が起こらなければ、全く問題なく運営方式で現在地に新病院を建設すると思う。しかし、現在地にこだわって、仮に統合がうまくいかなかったときには、おそらく医師がいなくなってしまう、病院が成り立たなくなると考える。長い将来を考えたとき、質の高い医療を確保するためにも、現在地ではなく新たな場所に新病院を建設することをお勧めする。



掛川市立総合病院

【他の質問項目】
「市長相談日」の運営、かがわ教育の日

一般質問

Q&A

掛川市・袋井市新病院建設協議会を検証する

佐藤博俊(親和会)

Q (1)両市の詳細な協議はこれから。最終合意なくして土地取得を急ぐ訳がわからない。(2)名大、浜医大共に医師のゆとりがない。実力ある指定管理者の選任に自信があるのか。(3)最終的病院建設決定は選挙後の新市長、議員にゆだねるべきで、今は信頼される内容を構築するとき、締結を急ぐべきでない。

A (1)土地の取得はとも重要なことであるため、できれば、任期中に用地取得を果たしたいと考えている。(2)統合までを乗り切ることが当面の重要課題と考えるので、医師確保をしっかりやりとやってみようという方針でいく。また、指定管理者の運営についても十分意を用いたいと思う。(3)現在の市長、議員で協議してきたのだから、任期中に責任を負っていかなければならないと思っている。



農道掛川高瀬線

Q 南北道路建設状況と今後の計画は

A 南北道路建設に一抹の不安。最重要事業で平成二十六年完成を確認する。

Q 用地買収のおくれや河川の橋梁のかけ方の変更などの問題があるため、平成二十六年の完成はできかねる。

【他の質問事項】
松くい虫・枯れ松対策

掛川市の財政問題を問う

水谷陽二(日本共産党)

Q 掛川市の財政の厳しさや市長はどう認識しているのか。実質債務残高比率は標準の一・五倍もあり、将来負担比率は県内最悪である。この将来負担比率は、掛川市がこれから行う事業の計算には想定されていない。今後、掛川市は下水道事業に二百二十五億円、南北道路建設で市の新たな負担七十一億円、高齢化社会に福祉や介護の負担も増大する。さらに新病院に二百二十億円とも。借金の返済も多く、税収が期待できない時代に大丈夫か。

A 合併当時の借入額がら、一般会計は四十億円減らした。しかし、公共下水道事業等で特別会計は二十九億円ほど増えた。人口規模から見ても身の丈には合っていないものと思っているが、市民生活の向上、市の発展のためには必要であると考える。今後は、一般会計の借り入れを減らし、財政を今以上に悪化させない。



掛川市の財政は安心できるのか

救急医療体制の充実は大庭博雄(親和会)

大庭博雄(親和会)

市長は「市立総合病院を現在地で存続」を明言すべき

鷲山喜久(日本共産党)

な場所に新病院を建設することを決断した。

【他の質問事項】
東遠学園の青年寮・児童寮、無保険世帯の子どもの短期保険証の発行

一般質問

Q&A

Q 世界的な金融危機・景気後退が懸念される。この局面下で、掛川市の税収をどのようにみているか。また、来年度予算編成に対する基本方針、施策面での特徴を伺う。市長は、景気対策への決意も述べているが、具体的な対策をどのように考えているのか併せて伺う。

A 現時点では、本年度当初予算と比較して約九億円程度の市税収入が減少すると見込んでいる。来年度予算編成は相当慎重にやっつけていきたい。これまでの予算に加えて、今後、市として取り組まなくてはならない大きな課題の事業の調査を行い、将来に向けての計画をつくっていくことを考えている。また、子どもとの関係については最優先で取り組んでいくべきと考えている。景気対策については、二年から三年くらいのスパンで考えて、単発的なものよりも長期的な施策を講じていきたい。



特徴ある外観をそのまま残すべき（掛川駅北口）

Q 掛川駅北口駅舎の建て替えは慎重に

A JRによる建て替えの計画が浮上している。文化的、歴史的景観である現在の姿を残す努力をすべきである。市長の考えを伺う。

市民のなかにもいろいろな意見があると承知している。一月の全員協議会の結論を待ち、その方向でJR側と話し合いをしていく。個人的には可能であれば補強ということも一つの方法ではないかと考えている。

【他の質問事項】
行政改革への取組状況、料金体系の格差、安全・安心なまちづくり、新病院建設



緑を植え自然を復元させるべき

Q 築七十五年経つ駅舎は、城下町・宿場町掛川の歴史のひとつとなっている。市民の愛着も深い。現在の木造のままの耐震化をJRに要望できないか。市の財政負担とか市民の寄附とか費用負担も考えてよいのでは。

A 現状では、市に対して負担金等を求めているものではない。一月の全員協議会での結論を尊重し、できる限り実現できるようにJRへ伝えていきたい。

高架橋下にミニ森林を
原田地区の新東名は高架橋になっていて、高さ二十m、距離は一・四km以上ある。地元ではゲ

【他の質問事項】
大池公園「こどもの森」アスレチックコース、緑の精神回廊事業終了後の活用アイデア

来年度予算はどうなる

東堂陽一（親和会）

一般質問

Q&A

Q 市長は昨年の六月議会で浄化槽管理に係る特区申請について、前向きな答弁があった。特区申請は使用料の平等の解消、し尿処理施設の延命、その他の効果をもたらすので、市政の重要プロジェクトと考えられるが、その後、どう取り組まれているか。

A かなり多くの市から特区申請があるが、ほぼ門前払いで認められる見込みがないことがわかってきた。規制緩和の面から、全国規模の規制改革の提案、要望により取り組むのが適当であると考えている。

また、プロジェクトチーム等の推進体制についても検討していきたい。

初期消火に対応困難な工リア解消のための分遣所設置は

Q 消防の分遣所設置問題では、財政上困難という答弁があった。県内でも弱い消防力であるので、一層の行政改革に努め、分



昔の松葉の滝の水量に戻るのはいづになるのか

【他の質問事項】
源流域の高速道路排水、松葉の滝枯渇問題、食育推進、協働を進める環境整備

分遣所の必要性は十分理解するが、現在の財政状況を考えると、設置は非常に厳しい問題である。現在、県において消防の広域化を検討しており、はっきりするのが平成二十四年度である。これを目指して結論を出す問題だと認識している。

浄化槽市町村設置事業における特区申請の進捗状況は

戸塚久美子（みどりの会）

二一掛川市建設十一年計画の真意は

高塚昌彦（親和会）

Q 第一次掛川市総合計画が出されてまだ二年しか経過していないが、新たに二一掛川市建設十一年計画を起草中と聞く。その真意はどこにあるのか。

A 今後十一年、年度別に数字を上げていき、事業の具体化を図っていきたいと考えている。総合計画と矛盾するものではない。

掛川の教育の日のイベントを終えて今後の方針は

Q 高い評価を受けた「かがわ教育の日」のイベントを今後どう生かしていくのか。また、青少年の育成やまちづくりのために、読書活動の充実に向け、更なる支援が必要と考えるがどうか。

A 本年度は約八百名の参加をいただいた。今後も、市民総参加による教育の振興のための「かがわ教育の日」となるように改善、充実に努めていきたい。読書活動については、平成十七年に策定した「掛川子



「かがわ教育の日」が設定されて2年目を迎えた

【他の質問事項】
中国河南省との友好交流、新病院建設、南北道路建設

ども読書活動推進計画」をもとに図書館、園、学校などでいろいろな施策を実施している。今後も読書活動が充実するように支援に努めていきたい。

一般質問 Q&A

議案質疑

平成二十年度掛川市一般会計補正予算(第三号)

問 全国茶品評会出品対策事業補助金の増額の理由は、

答 出品助成金や入賞者への報償金などの事業費が増加したためである。出品者数は昨年度同様の十四点である。



農林水産大臣賞を受賞した原田総合製茶と中山茶業組合のみなさん

問 市営住宅明渡し等請求事件の提訴

答 今までの、どのように対応で今回の事態になったのか。

再三の納付指導で納付誓約書を提出しているにもかかわらず、支払う誠意も見られなかった。

景気後退による中小企業及び失業者に対する支援策

雑賀祥宣(親和会)

Q 工業出荷額県内第五位を支えてきた中小企業者や従事者の痛切な声が聞かれる。受注の激減による資金繰りの悪化、そして雇用者の解雇、掛川市としての支援策が必要と思われるが、どのように考えているか。

A 最近の景気の後退は著しく、中小企業の資金繰りに大きな影響を与えている。国は融資保証制度の抜本的な見直しを行った。市としても中小企業の経営状況を見据えた上で、市独自で小口資金や短期経営改善資金の利子補給率の見直し等の支援策についても検討していきたい。



下小笠川廃川敷

Q 市有地の処分方法に対する基本的考えを伺う

A 自主財源確保のため市有地を売却すると聞くが、公共のため地域のためにと先人の方々が提供してくださった用地を、十分に地元の方々に説明をされたか。城内地区の売却済みの土地や掛川市教育センター隣の土地、下小笠川廃川敷の説明を。

Q 城内の場合については、掛川市開発公社が保有していた土地を5月に売却したものであり、処分の告示前に地元の関係者に対して説明などを行っている。いずれのものについても、売却をしたりする場合は、事前に地域の方にも話をして、理解を得られるような努力をこれからもしていきたい。

【他の質問事項】
合併後の現況

中山間地農林業振興と地域活性化対策は

山本義雄(親和会)

Q 中山間地域では、荒廃する茶園や耕作放棄の棚田谷田が増加している。これらの有効利用や活性化対策をどのように考えているか。

A 中山間地域の農業・農村対策として、「中山間地域等直接支払制度」が実施されており、現在四地区二十一集落で協定が結ばれている。引き続き、この制度の適切な活用を図り、中山間地の農地と集落環境の保全に取り組んでいく。また、地元農業委員とやる



中山間地の傾斜地茶園

Q 静岡空港開港、新東名開通を見据えた観光政策は

A 平成二十一年は静岡空港開港、平成二十四年度は新東名が開通する。この恵まれた交通便利を生かした広域観光のネットワーク化が必要だと考えるがいかがか。

Q 来訪客増加のために、広域的な観光ネットワークは必要不可欠であると考え。現在、広域的な取り組みとして、「西部地区観光協議会」など三団体に加盟するほか、空港周辺の広域組織にも加わり、広域マップの作成、モデル観光ルートづくり等の活動を行っている。今後も引き続き、これらの組織と連携し、国内外に向けての情報発信を努めていきたい。

【他の質問事項】
主要幹線道路建設の現状と課題

可決された意見書(要旨)

介護療養病床廃止計画の見直しを求める意見書

政府は、「医療制度改革関連法」を成立させ、二〇一二年三月末で十二万床の介護療養病床を廃止し、二〇〇六年現在二十三万床ある医療療養病床を十五万床に削減することとした。このまま介護療養病床が廃止されれば、どこにも行き場のない、いわゆる「医療難民」「介護難民」が各地にあふれることは明らかである。ついでには、地域住民が、いつでも、どこでも安心して必要な入院医療を受けられるようにするために、次の事項を要望する。

記

一、介護療養病床廃止計画の見直しを求める

【提出先】
内閣総理大臣、厚生労働大臣、衆議院議長、参議院議長

11月定例会における議案の審議結果一覧

議案番号	議案名	議決内容
議案 第105号	平成20年度掛川市一般会計補正予算(第3号)について	賛成多数可決
議案 第106号	平成20年度掛川市国民健康保険特別会計補正予算(第2号)について	賛成多数可決
議案 第107号	平成20年度掛川市後期高齢者医療保険特別会計補正予算(第1号)について	賛成多数可決
議案 第108号	平成20年度掛川市介護保険特別会計補正予算(第2号)について	賛成多数可決
議案 第109号	平成20年度掛川市公共下水道事業特別会計補正予算(第2号)について	賛成多数可決
議案 第110号	平成20年度掛川市農業集落排水事業特別会計補正予算(第1号)について	賛成多数可決
議案 第111号	平成20年度掛川市浄化槽市町村設置推進事業特別会計補正予算(第1号)について	賛成多数可決
議案 第112号	平成20年度掛川市温泉事業特別会計補正予算(第1号)について	全会一致可決
議案 第113号	平成20年度掛川市水道事業会計補正予算(第2号)について	賛成多数可決
議案 第114号	掛川市竹の丸条例の制定について	賛成多数可決
議案 第115号	掛川市国民健康保険条例の一部改正について	全会一致可決
議案 第116号	市営住宅明渡し等請求事件の提訴について	全会一致可決
議案 第117号	市営住宅明渡し等請求事件の提訴について	全会一致可決
議案 第118号	掛川市道路線の廃止について	全会一致可決
議案 第119号	掛川市道路線の認定について	全会一致可決
議案 第120号	専決処分の承認を求めることについて(東遠学園組合規約の変更)	全会一致承認
報告 第3号	健全化判断比率及び資金不足比率の報告について	全会一致受理
議案 第14号	「介護療養病床廃止計画の見直しを求める意見書」の提出について	全会一致可決
陳情 第2号	浜松河川国道事務所・出張所存続と地方分権改革推進本部の第2次勧告に向けて地方分権改革推進委員会等における慎重な審議を求める意見書について陳情	継続審査

11月定例会の経過

【11月】
28日 本会議「平成二十年度一般会計補正予算等各議案の市長提案理由説明。一部採決。」

9日 本会議「一般質問
10日 本会議「一般質問
11日 本会議「議案質疑、一部議案採決。議案・陳情
常任委員会付託。
常任委員会「付託議案・陳情審査
15日 常任委員会協議会「重要課題テーマ討議
22日 本会議「常任委員会委員長報告、質疑、討論、採決。陳情審査結果報告。意見書採決。常任委員会協議会委員長報告。議員派遣採決。」



委員会行政視察

各委員会は、所管する事項を調査するため先進地へ行政視察を行いました。

財政問題特別委員会(7/28~29)

【視察事項】

- 財政状況
- 歳入歳出決算と実質収支の推移
- 市税、交付税の推移
- 義務的経費の推移
- 地方債現在高の推移
- 土地開発公社等による土地保有の状況
- 財政健全化計画
- 主要政策の内容と目標設定の手法等
- 実績の評価と計画推進のポイント
- 市民への情報提供と意見収集の手法
〔大阪府羽曳野市、交野市〕



大阪府羽曳野市

健康・福祉対策特別委員会(10/1~2)

【視察事項】

- 高齢者向け健康増進プロジェクト(とっぶさんて大洋)
〔茨城県鉾田市〕
- 介護支援ボランティア制度
〔東京都稲城市〕



とっぶさんて大洋

議会だより編集特別委員会(8/28~29)

【視察事項】

- 議会だよりの編集について
- 議会報の内容
(型式、発行部数、委員会開催回数など)
- 議会だより発行までの流れ
〔長野県安曇野市〕

地球温暖化対策特別委員会(8/25~26)

【視察事項】

- 環境施策と温暖化対策
- 環境政策
- 地域ぐるみ環境ISO研究会の活動
- おひさまファンドの取り組み
- 保育園における新エネルギーの取り組み
- ペレットボイラー設置施設と南信バイオマス協同組合視察
〔長野県飯田市〕
- 伊那食品工業株式会社
- 日本環境経営大賞について
- 企業の環境活動
〔長野県伊那市〕



飯田市立座光寺保育園

議会運営委員会(10/6~8)

【視察事項】

- 五島中央病院
- 救急医療体制について
- 医師会、介護、保健、福祉施設との連携について
- 医師不足について
〔長崎県五島市〕
- 議会運営
- 議会の動画配信
〔佐賀県佐賀市〕



五島中央病院

新病院建設特別委員会の経過報告

現在地での病院継続を望む大勢の市民の声、また、病院周辺の区長さんからの要望書を背に受けて、約1年間袋井市との合併協議を続けさせていただきました。

結果、掛川市議会、袋井市議会共に苦渋の決断の末、場所は市内下俣・長谷地内を最適地とさせていただきました。これは、国の医療政策に伴う地方の医師不足、また、それに伴う地域市民への医療低下を防ぐ最後の手段と考えたからであります。一部議員や大勢の市民の皆様の要望に応えられなかったことは、委員長として誠に残念ではありますが、今後、協議される用地の確保、国道側からの取り付け道路、病院跡地の利用等に関しても絶大なご協力をお願いしたいと思っております。

私たち議会が新病院建設にあたり、大事に考えたことは、この地域の医療を今より低下させてはならない、中東遠(掛川市、袋井市、菊川市、御前崎市、森町)地域での核となる病院、心筋梗塞、脳梗塞、交通事故等、急を要することに30分以内で行ける場所、市の財政は大丈夫か等であります。これらを胸に4人の合併協議委員は協議会に臨みました。

協議会では、新病院の将来像、規模、建設場所、経営形態、建設時期という基本5項目が協議され、以下のように最終合意に至りました。

1. 新病院の将来像・基本方針

- | | |
|-----------------|------------------------|
| ア 急性期入院医療の充実 | イ 循環器系疾患・悪性新生物に対する機能強化 |
| ウ 小児医療・周産期医療の充実 | エ 地域医療連携の強化 |
| オ 救急医療体制の充実 | カ 保健・医療・福祉連携の強化 |
| キ 災害時医療体制の確立 | ク 医療従事者の満足度の向上 |
| ケ 安定的な経営の実現 | |

2. 新病院の規模

500床程度

3. 新病院の建設場所

掛川市下俣・長谷地内を最適地とし、高御所・領家地内を適地とする。

4. 新病院の経営形態

開院時における経営形態は、一部事務組合の地方公営企業法全部適用が最善である。ただし、開院後、直ちに将来的な経営形態等について検討を始めることが望ましい。

5. 新病院の建設時期

平成24年度末までの開院を目指す。



下俣・長谷地内()が最適地、高御所・領家地内()が適地と協議会で確認されている

以上であります。この間、市民の皆様には大変なご心配をお掛けしてまいりました。しかし、新病院建設に合意した以上は、両市が互いに手をたずさえ、一丸となって新病院の建設を推進してまいりますので、今後とも、皆様のご理解とご協力をお願い申し上げ、市民の皆様への報告とさせていただきます。

新病院建設特別委員会
委員長 鳥井昌彦

議 会 日 誌



【10月】

- 20日 財政問題特別委員会
- 23日 市議会全員協議会
- 29日 太田川原野谷川治水水防組合議会
中東遠看護専門学校組合議会
浅羽地域湛水防除施設組合議会
- 30日～31日 静岡県市議会議長会定期総会(下田市)

【11月】

- 4日 新病院建設特別委員会
- 5日 文教厚生委員会協議会
経済建設委員会協議会
- 11日 地球温暖化対策特別委員会
- 12日 健康・福祉対策特別委員会
- 19日 総務委員会協議会
- 20日 市議会全員協議会
議会運営委員会
新病院建設特別委員会

- 21日 議会運営委員会
議員懇談会
- 25日 財政問題特別委員会
- 28日～12月22日 掛川市議会第6回(11月)定例会

【12月】

- 4日 議会だより編集特別委員会
文教厚生委員会現地視察(竹の丸)
- 9日 議会運営委員会
- 11日 経済建設委員会協議会
- 12日 地球温暖化対策特別委員会
- 15日 議会運営委員会
- 16日 新病院建設特別委員会
- 17日 健康・福祉対策特別委員会
- 18日 財政問題特別委員会
- 22日 市議会全員協議会
- 25日 議会だより編集特別委員会

【1月】

- 14日 議会だより編集特別委員会

おしらせ

昨年の11月定例会から、市議会インターネット中継を開始しました。

本会議の様を生中継でお伝えするほか、録画中継をご覧くださいことができます。



掛川市ホームページ
アクセス <http://www.city.kakegawa.shizuoka.jp>
から「議会議中継」をクリック

傍聴席

初めての議会傍聴。どんな会場で、どんな内容の一般質問が出てくるのか、心弾ませ議場内の傍聴席に着席いたしました。

一議員の質問通告要旨は大きく四問。議長よりの指示により壇上へ。質問・答弁のやりとりが始まり一時間半。いろんな質問内容がありま

当初市長のみの答弁だけではなく、各委員長からの委員会の検討項目等の内容が発言されれば、その他の議員もつかうかしていること

はないと思います。俺私には関係がない、と思っている議員が多いのではないのでしょうか。私たちの希望としては、議員さん達の意見の場を強く望みます。それはそれで、各委員会を行っているかもしれないんですが、その内容が傍聴席まで伝わってまいりませんので、今一度、

進め方等々検討して、大勢の方々に傍聴していただける掛川市になっていただければ、と私は思います。どこの市町村でも内容・方法同じこと。昔から同じ方法。それらを改革して新しい市政、ガラス張りの市政を、今後お願いいたします。

(追)市職員・議員さん達の教育・マナー管理はどこまで行っているのでしょうか。市民の代表なんですから。
掛川一市民(上内田)

2月定例会の予定

2月 27日 本会議(施政方針、議案の提案説明)

3月

2日 本会議(議案の提案説明)
4日 本会議(二十年度関係議案質疑、委員会付託)・常任委員会
10日 本会議(二十年度関係議案委員長報告、採決)

11日 本会議(一般質問)
12日 本会議(一般質問)

16日 本会議(議案質疑、委員会付託)・常任委員会
17日 常任委員会

24日 本会議(委員長報告、質疑、討論、採決)

編集後記

昨年の日本の世相は、変りで終わった。アメリカの新たな大統領オバマ氏は、チェンジ(変革)をキーワードに、大きな支持を得た。同じ、変でも日本は負の要素が感じられ、力強く前向きにという捉え方をしない。
掛川市議会では、十一月定例会からインターネット中継が始まった。

編集委員会副委員長
高木敏男